

Unknown Flower

武村貴世子

二人は悲しみの海に漂っていた
まるで沈みかけていた船だった

あなたは未来への夢を閉ざされ
わたしは過去へと心を閉ざした

ただわたしたちには音楽があった
音から生まれる言葉が道標だった

メロディのように紡がれていく言葉たち
その一言が、一歩ずつ二人を繋いでいく

そして、二人で見た景色が、あなたの光になっていく
わたしの失った日常が、あなたの言葉で彩られていく

今でもふいに引き摺り込まれる暗闇の中で
あなたの奏でる言葉だけが私を掬い上げる

わたしのところで育つあなたの言葉の種は芽吹いたばかりだ
わたしを放っておかないあなたの言葉が咲かす花に触れたい